

# 御谷湯

Mikokuyu  
(東京都墨田区)



外観

黒湯。それは、東京から神奈川に広く存在する地下数百～千 m の温泉脈から湧出する褐色の温泉である。古代の植物の有機成分であるフミン酸の他、重曹などが含まれ、フミン酸は体が芯まで温まる効果をもたらし、重曹は肌がさっぱりとすべすべになるという効果をもたらすという。

今回紹介する銭湯は、黒湯が楽しめる御谷湯である。御谷湯は 2015 年 5 月にリニューアルオープンしたばかりの新しい施設となっている。

1 階のフロント横にある券売機でチケットを買い、フロントに下駄箱の鍵と一緒に提出すると、ロッカーのカギと交換される。本日は 4 階が男湯、5 階が女湯となっている。男女別の専用のエレベーターで脱衣室へ向かう。

脱衣室にはロッカーが 42 個ある。そのうち 6 個は細長いロッカーであり、籠も 15 個用意されている。洗面台は 2 個。骨董級の体重計も健在だ。

浴室は高級そうな石と落ち着いた色のタイルで仕上げられている。洗い場は 23 か所、シャワーブースは 2 か所あり、銭湯にしては珍しくシャンプーとボディーソープが置いてあるので自由に使える。洗い場のカランから出る湯の勢いは相当なもので、あっという間に洗面器がいっぱいになる。

御谷湯の最大のアドバンテージは浴槽である。黒湯の浴槽が 4 種類もあるのだ。高温風呂は湯温 44℃でやや熱め。常連客が「熱くないよ」と言ってくれるが、私には熱すぎる。続いて中温風呂。こちらは適温だ。低温風呂はほとんど水風呂だ。水温 21℃。私が一番気に入ったのは不感温温泉。湯温は体温と同じ 36℃で、何時間でも浸かっていられそうだ。

半露天風呂には薬湯がある。湯温は適温。本日は水色の入浴剤が入れられていた。その他、各 1 人用の打たせ湯、座風呂、ボディーマッサージ、ボディージェットが完備されている。これだけの浴槽があれば、かなり楽しめる。

入浴後はロビーで休憩。大きな液晶テレビの横には骨董級の壁掛け時計が今も時を刻んでいる。ロビーの椅子はまっ平らで奥行きが大きく、上がり込んであぐらをかくことができるため、座敷にいるような心地だ。各種飲み物、アイスクリームの販売、マッサージのサービスもある。

ちなみに、御谷湯の黒湯は、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、やけど、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、きりきず、慢性皮膚病などに効くという。

銭湯料金でスーパー銭湯並みの施設。しかも黒湯。それが御谷湯である。

- 名称：御谷湯
- 所在地：東京都墨田区石原 3-30-8
- 電話：03-3623-1695
- 営業時間：15：30～26：00
- 定休日：月曜日（祝日の場合は翌日休）
- 入浴料：大人 460 円、中人（6 歳以上 12 歳未満）180 円、小人（6 歳未満）80 円
- サウナ：なし
- サウナ内のテレビ：なし
- 取材日：2015 年 6 月 19 日（金）
- 取材：銭湯愛好会・東京支部